

平成20年度 「福島議定書」事業 【小学校】

方部	学校名	受賞状況	主な取組内容
県北	福島市立福島第一小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがい、歯磨き時の節水、花の水やり、クジャク清掃時の節水。 ・清掃中、教室移動時の電気の消灯 ・各委員会での取組みの紹介 ・牛乳パックリサイクル（洗浄水は花の水やり）、ごみの分別（分別箱設置）、裏紙利用。 ・児童下校後30分以内にストーブ消火。職員は職員室で仕事。
県北	福島市立福島第三小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・不必要な照明の消灯（特別教室使用時、清掃時は必ず消灯。トイレは使用時だけ点灯。） ・電気製品の使用時以外はプラグを完全に抜く。 ・家庭にも呼びかけ、温暖化防止の実践を行った。 ・牛乳パック回収、ダンボストの活用。
県北	福島市立福島第四小学校		<p>児童会の自然エコ委員会の児童が中心となり以下のような活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島議定書の内容を放送により全校生に呼びかけた。 ・全校集会で、エコイズを実施し、児童の意識を高めることができた。 ・学級の中で、電気をこまめに切る、使用していないコンセントを抜くことを呼びかけ、実践した。
県北	福島市立清明小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・放送や朝の会・帰りの会などで節電・節水を呼びかけた。 ・教室をはなれる時は電気を消す。コップでうがいや水飲みをし、流水しない。 ・環境委員会を中心に生ごみの再利用に取り組み、ダンボストも増加（2→6） ・ごみの分別、牛乳パックの回収。
県北	福島市立三河台小学校		<p>児童会委員会（環境）を中心とした取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要ない時の消灯の呼びかけ、水のむだ使い防止呼びかけ、ポスター作成 ・アルミ缶回収（車椅子購入）、牛乳パック回収（リサイクル業者へ） ・必要ない時の暖房を消す。 ・コンピュータ室の電源off。
県北	福島市立南向台小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・教室の電気をこまめに消す。 ・天気の良い日は電気をつけない。 ・水を出しっぱなしにしないように呼びかける。
県北	福島市立杉妻小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・教室移動や清掃などこまめにスイッチを消す。使っていない側の電気を消す。 ・児童会で新聞の発行、各委員会ごとの話し合いなど高学年児童を中心に頑張った。 ・エコチェックシート参加数も昨年より増加。子どもや保護者の関心が高まった。
県北	福島市立清水小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・必要ない照明の消灯。電化製品は使うとき以外は電源オフ。 ・節電、節水を呼びかける放送を毎朝、児童が行い、意識付けを図った。 ・企画委員会、保健委員会、環境美化委員会の児童がポスターを作成し、節電、節水を呼びかけた。 ・歯磨きの際はコップを使用することとし、節水に努めた。
県北	福島市立北沢又小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・使っていない教室やトイレの電気を消すよう呼びかけし、実践した。 ・歯磨きは必ずコップを使うようにし、節水に努めた。 ・リサイクルを呼びかけ、アルミ缶・牛乳パック・ペットボトルキャップを回収した。 ・給食の残飯を堆肥にするダンボスト（段ボールコンポスト）に取り組み、ごみの減量に努めた。 ・4年生親子で福島市環境課の方から環境問題に関する話を聞いたりクイズに挑戦し楽しく学習した。

平成20年度 「福島議定書」事業 【小学校】

方部	学校名	受賞状況	主な取組内容
県北	福島市立御山小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、放送委員会の児童が朝と昼の全校放送で地球温暖化防止のための呼びかけをしている。 ・全校生が目にする掲示板に地球温暖化についてのポスターを作成し掲示している。 ・委員会活動でごみ分別回収の徹底や牛乳パック・空き缶の回収を行っている。
県北	福島市立岡山小学校		<p>児童会計画委員会を中心に福島議定書運動を全校で実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気、水、紙類などの無駄をなくすための放送による呼びかけ ・昼休みの呼びかけと校内巡回（児童による） ・福島議定書ポスターの作成 ・エコチェックシートを活用した各学級での反省
県北	福島市立瀬上小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・児童下校後の教室でのストーブ使用禁止。 ・児童会委員会での節電、節水、ごみ減量の呼びかけ（ポスター作成、校内放送） ・印刷用紙の裏面、両面使用の奨励。牛乳パック回収。 ・「みどりの授業～マングローブ物語～」への参加。
県北	福島市立矢野目小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間にもこまめに消灯するよう呼びかけ、節電に努めた。 ・エコリサイクル委員会が中心となり、ポスター掲示や放送による呼びかけを行った。 ・職員による校外指導・家庭訪問において、できるだけ徒歩や自転車利用とし、ガソリン使用削減に努めた。 ・牛乳パック回収を行い、リサイクルの意識を高めた。
県北	福島市立笹谷小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・各学級でチェックシートにより、一人一人の取り組みを点検した。 ・毎月の電気・水の使用料を児童昇降口に掲示している。 ・当初は意欲的な活動が展開されたが、途中からマンネリ化してしまった。
県北	福島市立土湯小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会（5・6年生）を中心に、除湿器の水の再利用など、節水・節電を全校生に呼びかけた。 ・10月に増加してしまったので、11月初旬に3年生以上で組織する児童会で話し合いの場をもち、一人一人の前月の行動を振り返り、再度、節電・節水に取り組む意味を全体で確認して、11月の活動を行った。 ・給食残さをなくすよう努め、仮に生ごみが出てもダンボストを活用し肥料にするなど工夫した。
県北	福島市立荒井小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・使わない教室の電気を係を決めてこまめに消すこととした。 ・手洗い時に水を出したままにしない。 ・牛乳を冷やす大型冷蔵庫の電源をこまめに止めた。 ・各家庭に地球温暖化防止の呼びかけをし、エコチェックシートに取り組んでもらった。
県北	福島市立立子山小学校	H18入賞	<ul style="list-style-type: none"> ・節電、節水に努めた。 ・ごみの分別収集をしてごみの減量化を図るとともに、資源回収に努めた。
県北	福島市立佐倉小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会の児童が、ポスターを作成して掲示したり、エコ活動の放送呼びかけを行った。 ・パソコン、コピー機は常時電源を入れたままにせず、必要な時に電源を入れるようにした。 ・給食後の牛乳パック洗いをバケツにためた水で洗うようにした。 ・教師間で毎週水曜日はノー残業デーと設定し、定時帰宅をすることで電力消費削減に努めた。

平成20年度 「福島議定書」事業 【小学校】

方部	学校名	受賞状況	主な取組内容
県北	福島市立飯坂小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・電気や水道などを大切に使用するように呼びかけてきた。 ・どのように取り組むかを全家庭にプリントを通して呼びかけた。 ・ごみの削減を呼びかけ、環境委員会の児童と共に活動してきた。
県北	福島市立東湯野小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会で話し合い、以下の取組内容を決めた。その取組をポスターを作成し呼びかけをした。 (使っていない教室の電気は消す。給食時に晴れていたら教室の電気を消す。使っていない電気のコンセントをぬく。牛乳パックを洗った水は花壇にまく。水を使えばなしにしない。歯磨きの水はコップにつぐ。ぞうきんしぼりはバケツで行う。) ・各学級において担任が発達段階に合わせた話をし、継続的に取り組むよう励ました。
県北	福島市立松川小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・水の無駄使いをなくす、文具の無駄使いをなくす、ごみの分別に気をつける、電気の無駄使いをなくす。 ・この4項目を目標に代表委員会を中心に児童会みんなで活動してきた。 ・特にごみについては、職員も分別に努めた。 ・家庭へもできるところから取り組むことを呼びかけた。
県北	福島市立水原小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・水道の水を出しっ放しにしない、使っていない教室の電気をこまめに消す、など、当たり前のことを心がけて実践してきた。 ・古新聞、雑誌、段ボールなどはごみとして出さず、資源回収で集め、再利用し、ごみの減量化を図っている。
県北	福島市立下川崎小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・児童会の環境委員会で福島議定書の取組について話し合いをもった。 ・環境委員が放送を通して二酸化炭素排出量の削減の協力を呼びかけた。 ・ごみの減量化を進めるため分別に取り組んだ。
県北	福島市立鳥川小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・児童会代表委員会による放送での呼びかけ、節電・節水を呼びかけるポスターを掲示。 ・児童会コーナーへの福島議定書への取り組みの掲示 ・各家庭へのエコチェックシートの配布と呼びかけ
県北	福島市立平石小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・使用しない教室等の電気をこまめに消した。 ・手洗いや歯磨きの際に必要な以上に水を出さないようにした。 ・パソコンを使い終わったら必ず電源をオフにした。
県北	福島市立庭塚小学校	H18最優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ・理科、社会、総合的な学習の時間、学級活動等の時間において、環境問題について話し合った。 ・地域の環境を守るために地域の方々に助言・指導をいただき、水生生物調査やゴミ拾い等を行った。 ・年2回、クリーン活動を学校行事で実施し、地域の清掃活動に取り組み、環境への関心を高めた。 ・ブルタプやインクカートリッジ収集を行っている。 ・児童会の環境委員会が中心となって温暖化防止の呼びかけ（ポスターや校内放送等）を行ってきた。
県北	福島市立大久保小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・使わない電気をこまめに消すようになった。（室内の部分消灯など） ・休み時間に、電気の消し忘れがないよう環境委員会で声をかけている。 ・水道は使用量を毎日チェックし、使用状況を点検している。 ・牛乳パックを洗った水を花壇に利用するなど節水を呼びかけ、川への配慮もしている。 ・資源回収を行っている。暖房も必要な時だけ石油ストーブを使用し燃料使用削減をしている。

平成20年度 「福島議定書」事業 【小学校】

方部	学校名	受賞状況	主な取組内容
県北	福島市立青木小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会（児童会）を中心に各学年への呼びかけ、家庭への呼びかけを行ってきた。 ・廊下の掲示板に環境・エココーナーを設け、ポスターを貼って環境の知識を高めた。（6年生が理科の学習を生かして全校生に環境のことを知ってもらおうと作成。1週間ごとに替え、興味が持続できるようにした。） ・放送で呼びかけを行うとともに、隣り合う学年をペアにお互いに声をかけ合って取り組んだ。
県北	川俣町立福田小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・全校朝の会で地球温暖化問題を取り上げ、全校生へ呼びかけを行った。 ・学級毎に係を決めるなどして、使わない教室の電気をこまめに消すようにした。歯磨きはコップ利用。 ・電気や水道の使用量を定期的に知らせ、取り組みの意識を高めた。 ・家庭には、近くの移動になるべく車を使わないようにするなどの呼びかけを行った。 ・川俣町子ども環境サミットで活動を報告し、環境を守ることの大切さを訴えた。
県北	川俣町立川俣小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・朝の全校の集いの時間に、全校生へ呼びかけをした。 ・各学級の電気係の人が教室の照明をこまめに消すようにし、担任に確認してもらった。 ・水道の水が出っぱなしにならないよう注意した。
県北	川俣町立富田小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・各教科や総合の時間等で環境問題を関連させながら関心を高めた。 ・照明のスイッチや水道流し場にシールを貼り、行動を促した。カーテンの開け閉めで温度調節した。 ・児童会の委員会活動でチラシを作って校内掲示したり、家庭に配布し呼びかけを行った。 ・地区の掲示板を活用し地域の人にも呼びかけを行った。 ・町の子ども環境サミットで、温室効果ガス削減や森林保護について訴えた。
県北	川俣町立川俣南小学校	H20優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会での説明。ポスターを作って各クラスに配布、校内掲示、お昼の放送で呼びかけた。 ・節水や川汚染防止のためにアクリルタワシを作り全家庭に配布し、使ってもらった。 ・「葉っぱ判定士」の取組みで樹木が吸収する二酸化炭素の量や各家庭の使用量を調べ、学習した。 ・環境学習で学んだことを劇にして発表し、環境を守る取組を実践していく大切さを訴えた。 ・町の「子ども環境サミット」で発表し、環境を守る大切さを訴えた。
県北	川俣町立飯坂小学校	H18入賞	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学習（5年生）で地球温暖化と森林の働きについて学び、「CO₂を減らそう作戦」として全校生と家庭に呼びかけた。呼びかけた内容を日直が昼休みなどに校内をパトロールし点検した。 ・国語の「ニュース番組をつくろう」で「CO₂を減らそう作戦」の取組について番組をつくった。 ・「葉っぱ判定士」に参加し、校庭の木でどのくらいのCO₂を吸収してくれるのか調べた。 ・町の「子ども環境サミット」で発表し、環境を守る大切さを訴えた。
県北	川俣町立山木屋小学校	H20優秀賞	<p>二酸化炭素を減らそう大作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動を中心とした節電・節水等の取組（ポスター設置、残さいゼロ運動など） ・家庭・地域と連携した二酸化炭素削減の取組（学校だよりを通した呼びかけ、保護者・地域の方を招いた「なかよしフェスティバル」での発表、子ども環境サミットでの発表など） ・緑の少年団活動を中心とした地球温暖化防止の取組（間伐体験、植樹など）
県北	伊達市立伊達小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会の児童が中心となり伊達小プロジェクトとして、電気をつけっぱなしにしない、水をだしっぱなしにしない、物を大切に最後まで使う、の3つのプロジェクトを中心に取り組んできた。 ・ポスターの作成・掲示、放送による呼びかけ ・プロジェクトのチェックシートを作成し、学級での取組状況を数値化して発表。 ・クリーン作戦や学習発表会を実施し、地域の人々にも環境を守る大切さをアピールした。
県北	伊達市立伊達東小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・集会委員会による「エコ集会」を実施し、自分達でできる環境への取組みを全校生に呼びかけた。 ・エコ・コーナーを設置し、情報提供、活動活性化のための掲示を行った。 ・雨水貯水タンク（不要となったプランター利用）を設置し、花壇や畑の水やりに活用した。 ・図書委員会によるエコ紙芝居の作成と読み聞かせ。スポーツ委員会によるポスター作成と掲示。健康委員会による「コップ一杯の水で歯磨き」のテレビ放送。報道委員会によるエコ番組の作成と放送。

平成20年度 「福島議定書」 事業 【小学校】

方部	学校名	受賞状況	主な取組内容
県北	伊達市立富野小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・児童会を中心とした呼びかけによる節電・節水運動 ・集会等で全校生に呼びかけ、電気や水の無駄使いをなくす。 ・ポスター掲示により啓蒙する。 ・通学班で通学路のごみ拾いをする。
県北	伊達市立山舟生小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会の活動で「環境クイズ」を出したり、ポスターを作成して地球温暖化防止を全校生に呼びかけた。 ・牛乳パック回収やごみの分別を行い、再利用やごみの減量化に取り組んできた。 ・緑の少年団で、植樹や花壇づくりなどの緑化活動に取り組んできた。 ・「緑の提言作文コンクール」への参加を決め、自然環境の大切さについて考えた。
県北	伊達市立白根小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・自分達にできるエコ活動は何かをクラスごとに話し合い、代表委員会で集約し決定した。 ・コップを使用しての歯磨き、便座のコンセントを抜く、電気をこまめに消すなどの取組みを実施。 ・ポスター等で呼びかけを行った。 ・各家庭でも取り組めるよう、授業参観の際にエコ活動への参加を呼びかけた。
県北	伊達市立堰本小学校	H20入賞	<ul style="list-style-type: none"> ・節電、節水を呼びかけるポスターを作成・掲示し、取組を促進。 ・全校朝の会での呼びかけを実施。 ・「葉っぱ判定士」への参加（5年生）、森林環境学習の体験活動（3年・4年） ・保護者への参加呼びかけ
県北	伊達市立保原小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・節電、節水のポスターを作成し、学校全体に呼びかけている。 ・紙資源回収ボックスの設置と定期的回収、ごみ排出量の集計とポスター作成・呼びかけ ・プルタブ回収、アルミ缶回収、古紙回収
県北	伊達市立上保原小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・放送や担任からの呼びかけを行ったが実際の場での具体的な働きかけが弱く、意識定着しなかった。 ・今後は、エコ活動成果を定期的に伝え現状認識の機会とし、継続的に取り組めるよう工夫したい。
県北	伊達市立柱沢小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会を中心に電気・水道の無駄遣いをしないよう呼びかけを行った。 ・生活科や総合学習での農業体験活動などにより、日常生活の中でも意識する姿が見られた。 ・学級にエコ係ができるなど、全校生で取り組むことができた。 ・5・6年生の家庭科実習でエコバッグを作り日常生活で使用するなど資源の無駄遣いへの意識が高まった。
県北	伊達市立掛田小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・使用しない電気はこまめに消すようにしてきていることから、それ以上の削減は難しかった。 ・児童会を中心とした活動を今後も継続し、地球温暖化防止に取り組んでいきたい。
県北	伊達市立小国小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・使用しないときこまめに電気を消すこと、水道水を使用するときこまめに蛇口を閉めること、の2点を中心に全校生で声を掛け合い取り組んできた。 ・学年をこえて注意しあったり、率先して取り組んだりする児童の姿が見られ、当初よりエコ意識が高まっている。

平成20年度 「福島議定書」事業 【小学校】

方部	学校名	受賞状況	主な取組内容
県北	伊達市立大石小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・児童会を中心に各学級で心がけた。(使用していない教室の消灯、古い蛍光管の取替え、コンセントを必ず抜き待機電力のカット、手の洗い方を工夫し水を節約) ・職員室では次の点を心がけた。(窓際の消灯、PCの電源設定で一定時間後にモニター消灯、印刷機等のメインスイッチを切り待機電力のカット、勤務の適正化を図り施錠時刻を繰上げ) ・保護者への啓蒙を図った。
県北	伊達市立石田小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・過去の電気使用量を調べて一覧にまとめ、問題点を出し合った。 ・児童会の企画委員会が中心となり全校児童に節電・節水に努めるよう呼びかけた。 ・家庭でも省エネに取り組みよう呼びかけた。 ・年度末には、電気使用量をまとめ、問題点を話し合い、課題把握に努める予定。
県北	伊達市立小手小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・健康委員会を中心に自分達で取り組む内容を話し合い、全校児童に呼びかけ学校全体で取り組んだ。 ・こまめな消灯、電化製品のコンセントを抜く、歯磨きはコップを使用、蛇口をきちんと閉める、など。 ・印刷・コピー用紙の両面(裏面)使用、封筒の再利用。 ・花いっぱい活動、川の清掃活動・水質検査。
県北	桑折町立醸芳小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・節水、節電を全校的に取り組んだ。 ・ポスターを各教室に掲示し呼びかけた。
県北	桑折町立睦合小学校	H20入賞	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会の環境委員会が中心となって全校で取り組んだ。昼の放送やポスターで呼びかけを行った。(使わない教室の電気は進んで消そう。パソコンやCDデッキなどを使い終わったら必ず電源を切ろう。手洗い・うがいの水・そうじ等で使う水はむだに出さないようにしよう。) ・各学級に環境委員会作成のチェックシートを配布し、学級毎に取組を確認した。 ・各学年に応じて、理科や学級活動、総合学習等で自分達の身近な問題ととらえられるよう努めた。
県北	桑折町立半田醸芳小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・電気、水道の節約を呼びかけるポスターを作成し、校内に掲示した。 ・毎朝、校内放送で節電・節水を呼びかけた。
県北	国見町立小坂小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・職員室の電気は、常時は2/3を使用し、1/3は消灯する。 ・児童の自主的な「電気スイッチオフ」運動の活性化 ・特別教室のスイッチオフ
県北	国見町立藤田小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・使わない教室の電気は必ず消す。 ・待機電源の削減のため不必要なコンセントを抜く(TV、ビデオなど)。 ・休み時間は教室内の電気を消す(各学級の係の児童)。 ・職員室等の執務する場合は、必要箇所のみ点灯。
県北	国見町立森江野小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・児童会代表委員会を中心に全校生へのエコの呼びかけ。 ・地球温暖化を防ぐ環境エコ教育(担任)

平成20年度 「福島議定書」 事業 【小学校】

方部	学校名	受賞状況	主な取組内容
県北	国見町立大木戸小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・児童会代表委員会が中心となり、どんなことが節電・節水に結びつくか具体的な方法や数値を示して発表したり、エコチェックシートの活用について放送やプリントで呼びかけたりした。 ・各クラスにおいて、地球温暖化防止のために活動が不可欠であることを道徳・特別活動・総合学習で学んだ。
県北	伊達市国見町大枝学校組合立大枝小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・1～6年のそれぞれの学年で自分たちにできることを話し合い、休み時間や清掃時などにこまめに教室等の電気を消すこと、水を効率的に使うことを決め、声をかけながら取組みを進めた。 ・エコチェックシートを家庭での協力のもと、意識して取り組むことができた。
県北	二本松市立二本松南小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・節電・節水を報道委員が毎朝に放送で呼びかけた。エコ見回り隊が昼休みに見て回った。（教室をあけるときは電気を消す。廊下・階段の電気はできるだけ消す。手洗いや歯磨きのときは水を出しっぱなしにしない。ぞうきんはバケツに水をくんで使う。） ・エコキャップ推進運動（ポリオワクチン）にも協力。
県北	二本松市立岳下小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを作成し校内各所に掲示したり、全校集会で呼びかけた。 ・学校便りで取組状況を家庭や地域の方々に知らせた。 ・使用していない教室やトイレの蛍光灯を消した。 ・使用していないときは、パソコンや印刷機の主電源を切った。 ・池の水交換を控えた。
県北	二本松市立安達太良小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・福島議定書の取組を玄関や昇降口に提示し、保護者や来校者にも家庭での取組を呼びかけた。 ・節電・節水を呼びかけるポスターを電源スイッチや水洗い場などに貼付した。 ・電気・水道使用量をグラフ化するとともに掲示し、意識向上を図った。 ・職員も照明が必要な時間の仕事は1つの部屋（職員室）で行う。 ・太陽熱利用の暖房システム（OMソーラー）となっている。
県北	二本松市立杉田小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・児童会からの呼びかけの実施（節電・節水） ・各学級の係活動（消灯係等） ・校長、教頭、養護教諭が休み時間終了後に見回り消灯及び水道蛇口確認。
県北	二本松市立石井小学校	H20入賞	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科、社会科、理科、総合学習など教育課程に位置付け、環境問題を取り上げて学習を深めた。 ・水は必要な量だけ、使わない電気は消す、使っていないコンセントを抜くなど日常生活の取組を進めた。 ・代表委員会（ポスターや児童会だよりで呼びかけ、各学級や家庭での取組について話し合いを続けた。） ・放送委員会（毎朝、放送で呼びかけ）、図書委員会（環境に関する本を紹介し、意識を高めた。）
県北	二本松市立大平小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・児童会環境委員によるポスターによる呼びかけ、学級毎のポスター掲示。 ・放送による「エコクイズ」 ・清掃中の消灯呼びかけ ・提出あったエコチェックシートの取組後の感想を便りにして全家庭に配布。
県北	二本松市立上川崎小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター作成、各学級と廊下に掲示。専用掲示板を設け、地球温暖化、節約術、エコクイズ等を掲示。 ・毎月の電気・水道使用量と料金を折れ線グラフにして掲示し比較できるようにした。 ・昼の放送や全校集会で、実績報告やエコクイズを実施し意識を高めた。 ・「チャレンジカレンダー」として曜日毎、学級毎に取り組み、反省し、結果を月毎にグラフ化し掲示。 ・各家庭で実施したエコチェックシートに家庭でのエコアイデアを書いてもらい、掲示板で紹介。

平成20年度 「福島議定書」事業 【小学校】

方部	学校名	受賞状況	主な取組内容
県北	二本松市立下川崎小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、シールを作成・掲示。低学年でも読めるよう平仮名とした。 ・全校集会で地球温暖化について発表した。 ・新聞エコバッグを作り、全校生に紹介した。 ・保健だよりで簡単にできるエコを紹介。放送で節電・節水を呼びかけ。 ・福島議定書をコピーして配布し、いつでも見られるようにして個人のエコ意識を向上。
県北	二本松市立旭小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・「旭エコキッズプロジェクトチーム」を立ち上げ、啓蒙活動を実施（PRポスターの作成・配布、昼の放送での節電・節水の呼びかけなど）。 ・天候に見合った服装の呼びかけ。教室の照度測定と消灯の徹底。 ・教職員のエコドライブ実践。
県北	二本松市立木幡第一小学校	H19優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に位置付け（4年・社会：クリーンセンター見学、5年・学級活動：環境係の新設、環境新聞づくり、6年・総合等：環境特別授業（シャープの実践校に選定）） ・節電・節水の工夫（わき水利用等）、こどもエコクラブ活動、エコ俳句コンクール実施、環境情報掲示等 ・家庭への呼びかけ（エコチェックシートを活用し、月毎に反省点等を話し合った。） ・学習発表会（エコを呼びかける歌をダンスとともに発表）
県北	二本松市立木幡第二小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・児童会代表委員が福島議定書の参加意義を全校集会で説明。 ・ポスターを作成し各所に掲示。 ・子ども作成のちらしを各家庭に配布、協力呼びかけ。 ・教職員のノー残業デー実施。 ・森林環境学習（フォレストパークあだたら）の実施で地球温暖化防止と森林の大切さを学んだ。
県北	二本松市立針道小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・教室を使用しないときはこまめに電気を消す。 ・歯磨きはコップを使用し必要以上に水を使わない。 ・手洗いの時はこまめに水を止め、必要以上に水を使わない。 ・使わない電気機器のプラグはコンセントからははずす。
県北	二本松市立北戸沢小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・授業終了のたびに電気を消す活動を行った。 ・委員会活動とタイアップし、担当児童が各教室をまわり節電を呼びかけた。 ・毎朝、委員会の児童が電気メーターをチェックし、1日の電気使用量・二酸化炭素排出量を表にまとめ、昼の放送で結果を報告し節電への理解を求めた。 ・エコチェックシートを活用し自分の生活を見直した。
県北	二本松市立南戸沢小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯のスイッチをこまめに切る。 ・使用していない電気製品はプラグをぬいておく。 ・児童下校後は、職員はできるだけ一ヶ所で仕事をする。早めの退勤を心がける。
県北	二本松市立上太田小学校	H18入賞 H20入賞	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の目につくところに、福島議定書を掲示した。 ・温暖化防止のためにできることをテーマに環境委員会の児童がクイズを考え集会を行った。 ・あわせて「ストップ・ザ・地球温暖化体操」を行い、啓蒙を図った。 ・環境委員会による休み時間の見回り。保護者への参加呼びかけ。 ・活動継続3年目なので定着してきている。
県北	本宮市立本宮まゆみ小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・節電、節水に努めている。 ・ごみの分別収集に取り組んでいる。 ・毎月1回、資源回収日を設定している。

平成20年度 「福島議定書」事業 【小学校】

方部	学校名	受賞状況	主な取組内容
県北	本宮市立五百川小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年代表委員による話し合い（各学級より持ち寄った取組内容の精選、毎日の反省、各学級へ配布） ・運営委員会児童によるポスターの作成、各学級・廊下等への掲示。 ・4年生では、学習発表会で環境について調べ、新聞やグラフにまとめて発表した。（その後、保護者からの感想を得たところ、子どもと親の意識を向上させることができた。）
県北	本宮市立和田小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・高学年で、作文指導の題材として「地球温暖化」をテーマに取り組み、市内主張コンクールで発表。 ・節電・節水・節油（ストーブ）の徹底。 ・校舎前・職員室前にアサガオによる日よけカーテンづくりに取り組んだ（扇風機を使わない）。 ・毎週、廃品回収。年2回、地区民全体で資源回収。
県北	大玉村立大山小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・児童会だよりを発行し、全校生や各家庭に呼びかけた。（学校の5つの取り組みの紹介など） ・各学級において「地球温暖化防止カレンダー」の活用を呼びかけた。（10月の学級のめあてを設定。毎日、帰りの会で振り返りして記入。11月も同様。） ・カレンダーの結果を集約し、各学級の取組や、使用量実績の変化を校内放送で紹介した。
県北	大玉村立玉井小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・学年、学級（歯磨き時の節水、休み時間や清掃時の消灯など） ・委員会（給食委員会による残菜調べ、環境委員会のアルミ缶回収） ・全校（児童会からの呼びかけ・掲示、校長講話） ・各家庭（エコチェックシート記入）
県北	福島大学附属小学校	H20入賞	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン・リサイクル委員会が中心となり、放送やポスターなどでエコへの意識を高めた。 ・広報「おさらぎ」に特集記事を掲載し、家庭にも呼びかけた。 ・広報委員会が中心となり「身近なもったいない～自分でできるエコ」について児童・保護者双方にアンケートを実施し、その結果を広報誌に掲載し、周知した。 ・太陽光発電量の継続観察。給食残飯のコンポスト活用・肥料化。